



北区認知症フレンドリーコミュニティ通信

北区では、認知症になってもそれまでの暮らしが尊重され、これまでどおり暮らしていけるまち「認知症フレンドリーコミュニティ」をめざした取組みをすすめています。
北区の認知症フレンドリーコミュニティづくりの活動について情報発信します。

Vol.12

————北区認知症本人のつどいを毎月第四金曜日に開催中————

4月28日

ご本人同士で、家族との関わり方についてお話ししました。本人さんからは、自分が施設に入ると家族が安心なので強く施設に入ること勧められる、自分のやりたいことを制限されることがあるなど、様々な意見がでました。

ご本人の皆さんが自分の目線だけではなく、ご家族の目線からも話し合いをされていました。ご本人同士だからこそ分かる、考え方や思いなどを共有していました！

「旅のこぼし」カードを使い
自己紹介

5月26日

この日は、初めての方もいらっしゃったので、「旅のこぼし」カードを使い、自己紹介も兼ねてお話ししました。「ともに歩む」や「なじみの場所」など、自分の手に取ったカードをもとに、様々なお話がありました。

「ともに歩む」カードを引かれた方は、「笑顔の人もいれば、怒っている人もいるけど、いいふうにくいように頑張る！」とおっしゃっていました。



6月23日

この日は、ご本人の方と一緒に、高速道路に誤って進入してしまう原因について話し合いました。

若い時から分かりにくいと感じる入口は多々あったので、外国人や高齢者、認知症のある人だけに焦点をあてるのではなく、誰もが間違えないような工夫をするべきなどの意見が出ました。例えば、入口の案内をさらに手前に表示することや、音でも案内すればいいとの意見もありました。

そしてサプライズゲスト丹野智文さんが飛び入り参加！
39歳の時に若年性アルツハイマー型認知症と診断され、現在は、認知症当事者の想いを全国各地で語っていらっしゃる丹野智文さんのご参加に皆さん驚かれていました！（丹野さんには、昨年度の北区認知症講演会でお話をいただきました。）

今後の活動予定

- ・ 7月28日（金）
北区認知症本人のつどい（ネックスプラザへ！）
- ・ 8月18日（金）
北区認知症フレンドリーセミナー（チラシ参照）
「認知症になってもはたらく！」
- ・ 8月25日（金）
北区認知症本人のつどい

高速道路入口誤進入について
話し合う様子



関心がある方、
8/18のセミナーへ
お越しください！

今年度の
テーマ

「社会参加・はたらく」

デイサービス事業所などを中心に、認知症になっても、地域・社会・仲間とつながり、「貢献」できる取組みの実践に向けて検討していきます。